

登録コード	E7102300	開講年度	2026			
授業科目	現代教育概論				担当教員	島田 英昭
英文授業名	Contemporary Education III				副担当	林 寛平・高柳 充利・安達 仁美・森下 孟・徳井 厚子
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・1時限	対象学生
講義室	教育N 2 0 1 講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				現代教育に関する基礎的な知識を得ることで、教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につける。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				現代教育に関する基礎的な知識を得ることで、教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能を身につける。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	「次世代の学び」をテーマとして、現代教育コース関係教員がオムニバス形式で情報提供し、その情報についてディスカッションを行う。					
(5)授業計画	第1回：哲学と心理学 第2回：AIと心理学 第3回：異文化の心理学 第4回：異文化間の摩擦を考える 第5回：世界の教育 第6回：「私の信条」 第7回：『生きがいについて』 第8回：学習動機づけと心理学 第9回：哲学対話 第10回：探究的な学びのデザイン 第11回：学級経営の基礎基本 第12回：生成AIの利活用 第13回：自分の意思と他者の評価（ランク社会） 第14回：不易と流行：教育・教科の指導力とICT活用 授業の進め方についての注意事項 ○内容は、時事的問題、現代的問題、受講者の興味・関心等に応じて置き換える。 ○オンライン授業を行うことがある。 ○教育実習等の教育学部必修に位置づけられる科目の履修により教室演習を欠席する場合には、eALPSを通して申請を受ける。原則として対応する資料閲覧と自習により出席と認めるが、追加の課題提出を求めることがある。 ○授業アンケートを実施する。					
(6)成績評価の方法	●以下を総合して判定する。 毎回の授業の議論への参加・課題（100%） 評価割合は若干の調整を行うことがある。 現代教育に関する基礎的な知識を評価する。 ●得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	【卓越している】現代教育に関する基礎的な知識について、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】現代教育に関する基礎的な知識について、非常に高い水準にある。 【やや上にある】現代教育に関する基礎的な知識について、高い水準にある。 【その水準にある】現代教育に関する基礎的な知識について、一定水準にある。					
(8)事前事後学習の内容	●授業に関連する内容について、書籍やネットなどで復習し、理解を深める。 ●この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。					
(9)履修上の注意	●現代教育コースの学生に限る。 ●eALPSを常時利用する。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	原則としてメールで対応する。連絡先はeALPSを参照する。					
【教科書】	指定しない。					
【参考文献】	内容に応じて随時紹介する。					